

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、新興国経済の減速に伴う影響などから生産面がやや弱含んでおり、基調としては緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資は弱めの動きが続いているものの、住宅投資は増加しているほか、個人消費は底堅く、設備投資は堅調に推移している。

生産はやや弱含みとなっている。雇用・所得環境は改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は保合いとなっている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資 …… 弱めの動き

3月の公共工事請負金額は、市町村の発注は増加したものの、国、県、独立行政法人等が減少したため、全体では9か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲41.3%）。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2015年 7～9月	10～12	2016年 1～3	2016年 1月	2	3
山形県	▲19.6	▲53.9	▲44.6	▲16.2	▲71.0	▲41.3

＜資料＞ 東日本建設業保証(株)等の「公共工事前払金保証統計」より作成

（注）pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資 …… 堅調に推移

2月の建築着工床面積（民間非居住用）は、宿泊・飲食サービスなどは減少したものの、製造業、運輸、卸・小売、医療・福祉などが増加したため、全体では2か月連続で前年の水準を上回った（前年比+2.1倍）。3月短観における2016年度の設備投資計画（全産業）は、製造業、非製造業とも増加する計画（前年度比+22.1%）。

（図表2）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2015年 4～6月	7～9	10～12	2015年 12月	2016年 1	2
山形県	▲4.8	▲3.5	▲25.8	▲67.6	+37.7	+2.1倍

＜資料＞国土交通省「建築物着工統計」より作成

（図表3）県内企業の設備投資額（2016年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2014年度（実績）	2015年度（計画）	2016年度（計画）
全産業	+19.7	▲7.0 〈▲6.9〉	+22.1
製造業	+37.0	▲21.5 〈▲8.0〉	+28.0
非製造業	▲2.0	+18.4 〈▲5.5〉	+15.3

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費 …… 底堅い

2月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、暖冬の影響により衣料品は不振であったものの、食料品、雑貨、家庭用品などは堅調に推移したほか、うるう年要因もあって、全体では2か月連続で前年の水準を上回った（前年比+2.4%）。

家電販売は、白物家電（冷蔵庫、洗濯機など）やテレビ、季節家電（エアコン）などを中心に持ち直している。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2015年 4～6月	7～9	10～12	2015年 12月	2016年 1	2
全店	+3.9	▲1.1	▲2.2	▲2.0	+3.4	+3.0
既存店	+2.2	▲2.9	▲2.7	▲2.6	+2.8	+2.4

〈資料〉経済産業省

3月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、2か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲8.9%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2015年 7～9月	10～12	2016年 1～3	2016年 1月	2	3
乗用車 (含む軽)	▲6.4	▲6.7	▲7.4	+2.1	▲11.9	▲8.9
乗用車 (除く軽)	▲2.6	+2.3	▲3.5	+5.8	▲6.6	▲5.7

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資 …… 増加

2月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも減少したため、全体では14か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲25.3%）。地域別には、山形、酒田、天童などで減少した。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2015年 4～6月末	7～9	10～12	2015年 12月	2016年 1	2
山形県	+8.9	+43.8	+12.6	+12.6	+32.9	▲25.3
持家	+23.0	+31.5	▲9.3	▲9.3	+8.0	▲11.9
貸家	▲35.3	+75.6	+25.6	+25.6	+78.4	▲52.4
分譲	+95.8	+8.5	+72.0	+72.0	+26.0	▲10.2

着工戸数の多い市：山形市▲48.8%、鶴岡市+2.8倍、酒田市▲7.9%、東根市0.0%、天童市▲50.0%

〈資料〉国土交通省「住宅着工統計」より作成

3. 生産・・・やや弱含み

1月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2か月ぶりに上昇した（前月比+3.3%）。業種別には、情報通信機械、化学など9業種は低下したものの、はん用・生産用・業務用機械、食料品など13業種は上昇した。

1月の在庫指数（同）は、2か月連続で上昇した（前月比+3.5%）。

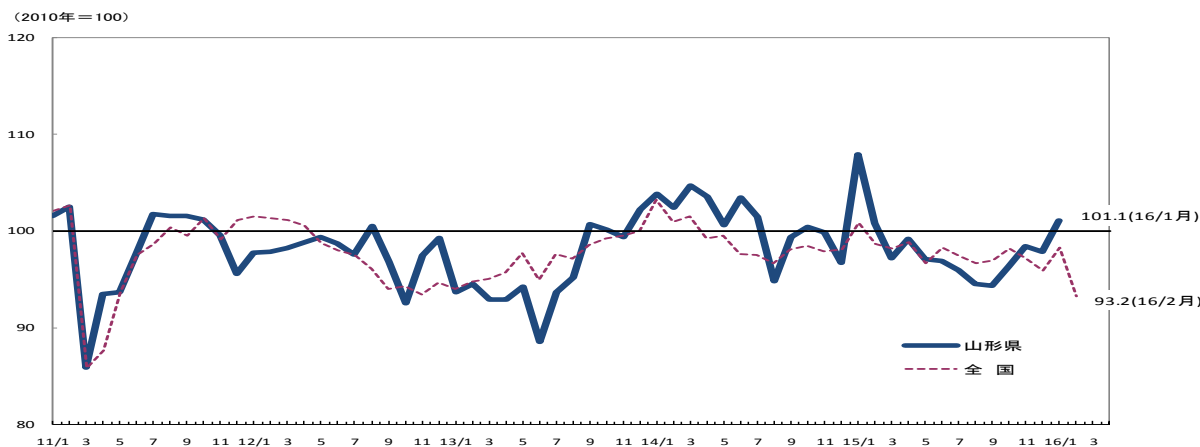
（図表7）鉱工業指数

2010年基準

山形県		2015年 4～6月	7～9	10～12	2015年 11月	12	2016年 1
生 産	季調済前月・期比%	▲4.2	▲2.9	+2.7	+2.2	▲0.5	p +3.3
	原指数前年比%	▲5.0	▲4.0	▲1.5	▲0.7	+1.2	p ▲7.1
在 庫	季調済前月・期比%	+1.8	+11.0	▲7.5	▲2.7	+1.0	p +3.5
	原指数前年比%	▲6.2	+15.8	+1.7	▲0.8	+0.2	p +6.9

＜資料＞山形県企画振興部「山形県鉱工業指数」より作成

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



＜資料＞経済産業省「鉱工業指数」、山形県企画振興部「山形県鉱工業指数」より作成

4. 雇用・所得環境・・・改善

2月の有効求人倍率は、1.23倍となった。業種別には、製造業、卸・小売などの求人は減少したものの、建設、運輸、不動産、宿泊・飲食サービスなどは増加した。2月の雇用保険受給者は、6か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲2.2%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、<>内は前年比

山形県	2015年 4～6月	7～9	10～12	2015年 12月	2016年 1	2
有効求人倍率	1.22	1.19	1.20	1.20	1.19	1.23
有効求職者数	<▲6.2>	<▲5.9>	<▲1.9>	<▲1.9>	<▲3.0>	<▲0.8>
有効求人数	<▲7.7>	<▲7.6>	<▲6.2>	<▲6.2>	<▲5.7>	<+0.4>
完全失業率	3.1	2.5	2.4	—	—	—
雇用保険受給者	<▲4.1>	<▲2.2>	<▲7.6>	<▲7.6>	<▲4.2>	<▲2.2>

＜資料＞厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

1月の常用雇用指数は、13か月連続で前年の水準を上回った（前年比+1.1%）。業種別には、運輸、卸・小売、不動産などで前年の水準を上回った。

1月の所定外労働時間は、2か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲2.8%）。業種別には、運輸、不動産、宿泊・飲食サービスなどは前年の水準を上回ったものの、製造業、建設、卸・小売などは下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2015年 4～6月末	7～9	10～12	2015年 11月	12	2016年 1
常用雇用指数	+2.0	+1.0	+1.9	+1.6	+1.9	+1.1
所定外労働時間	▲6.8	▲11.6	▲3.5	0.0	▲3.5	▲2.8

〈資料〉山形県企画振興部

1月の現金給与総額（名目賃金指数）は、建設などは増加したものの、製造業、運輸、卸・小売、不動産などの業種が減少したため、3か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲2.2%）。

1月のきまって支給する給与は、7か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲2.1%）。

(図表 11) 所得関係指標 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2015年 4～6月末	7～9	10～12	2015年 11月	12	2016年 1
現金給与総額 (名目賃金指数)	+3.9	▲3.1	▲5.5	▲1.3	▲5.5	▲2.2
きまって支給 する給与	+0.6	▲2.6	▲3.3	▲1.6	▲3.3	▲2.1

〈資料〉山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

3月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数（9件）は前年（9件）と同一であったものの、負債総額（20.0億円）は前年（41.8億円）を下回った。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2015年 7～9月	10～12	2016年 1～3	2016年 1月	2	3
件数	11	11	17	4	4	9
負債総額	55.1	61.2	27.4	1.5	5.9	20.0

〈資料〉(株)東京商工リサーチ山形支店「山形県企業倒産状況」より作成

6. 物価・・・保合い

2月の消費者物価指数（山形市、生鮮食品を除く総合）は、横ばいとなった（前年比0.0%）。費目の内訳をみると、光熱・水道、交通・通信、家具・家事用品などは下落したものの、教養娯楽、住居、被服及び履物などは上昇した。

（図表 13）消費者物価指数

2010年基準、前年比、%

山形市	2015年 4～6月末	7～9	10～12	2015年 12月	2016年 1	2
総合	▲0.1	▲0.1	+0.2	+0.2	▲0.2	+0.1
生鮮食品を除く総合	▲0.2	▲0.1	+0.2	+0.2	▲0.1	0.0

〈資料〉山形県企画振興部

7. 金融

2月の県内預金（銀行＋信用金庫）は、法人預金や個人預金を中心に前年の水準を上回った（前年比+1.6%）。

2月の県内貸出（銀行＋信用金庫）は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った（前年比+2.9%）。

この間、2月の貸出金利は低下した（前月比▲0.006%ポイント）。

（図表 14）預金、貸出、貸出約定平均金利

％、％ポイント

山形県	2015年 4～6月	7～9	10～12	2015年 12月	2016年 1	2
実質預金＋CD （末残前年比）	+3.1	+3.2	+2.8	+2.8	+2.7	+1.6
貸出 （末残前年比）	+2.3	+2.5	+2.7	+2.7	+2.9	+2.9
貸出約定平均金利 （総合、ストックベース、月・期中変化幅）	▲0.034	▲0.019	▲0.026	▲0.010	▲0.002	▲0.006

2月末水準
1.190

対象) 預金、貸出 : 国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）と信用金庫の県内店舗

貸出約定平均金利 : 県内に本店を置く地銀、地銀Ⅱ

〈資料〉日本銀行山形事務所

以上

（内容に関するお問い合わせ先）

日本銀行山形事務所

TEL : 023-622-4004

FAX : 023-627-1171